

令和 7 年度 6 月期 GSS 活動報告（栗駒山地）

岩手南部森林管理署

岩手南部森林管理署では、栗駒国定公園の主峰である栗駒山（須川岳）において、登山者の増加等による植生荒廃や不法投棄を防止するため、森林保護員（通称：グリーン・サポート・スタッフ（GSS））による国有林野の保全活動を行っています。今年度も6～9月の間、巡視活動を実施しますので、ご協力をお願いします。



6月20日、今年度のグリーン・サポート・スタッフの活動が始まりました。今年度は去年から継続で活動するスタッフ2名、初めて活動に携わるスタッフ2名の計4名で実施します。辞令交付と安全指導の後、各スタッフそれぞれ身を引き締め現地へと向かいました。



署長からの辞令交付



次長による安全指導

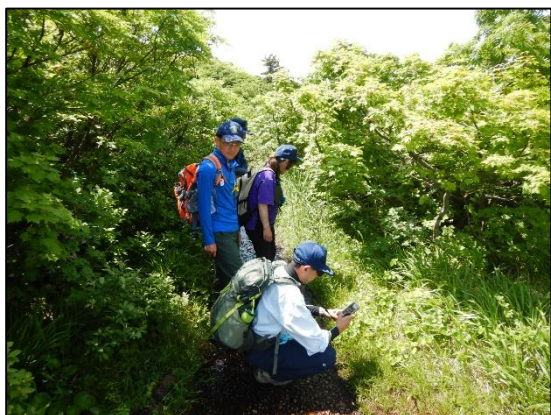
現地では、朝は曇り空でしたが午後にはすっきりと晴れ渡りました。衛星電話の使用練習・資器材の確認を済ませて登山道へ向かい、この日は現場の植生確認を主に行いました。



すっきりと晴れ渡った須川温泉



衛星携帯の通信をチェック



草花などの植生を確認



焼石岳・朽ヶ森山方面を望む

四季折々の植物が見られる名残ヶ原湿原には、一面にワタスゲが広がっていました。この一帯は、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的に、「栗駒山・朽ヶ森山周辺森林生態系保護地域」に指定されています。

浄土平では、活火山である栗駒山の火山活動を身近に感じることができます。ここでは、マグマの噴出によってできた奇岩の数々や、火山ガス（硫化水素）の影響により生じる場所ごとの植生の違いが観察できます。



ワタスゲいっぱいの名残ヶ原



火山景観の広がる浄土平

この日のパトロールにて出会った花々の一部です。ピンクの花が美しいサラサドウダンや白い花が可愛いナナカマドは、秋には栗駒の紅葉を彩ってくれる重要な木々たちです。

足元にはイワイチョウ、アカモノ、マイヅルソウの群落がありました。そして、この日一番の見どころはワタスゲの大群落。この時期のワタスゲは樂園を思わせる美しさです。



サラサドウダン



ナナカマドの花



イワイチョウ



アカモノ（イワハゼ）

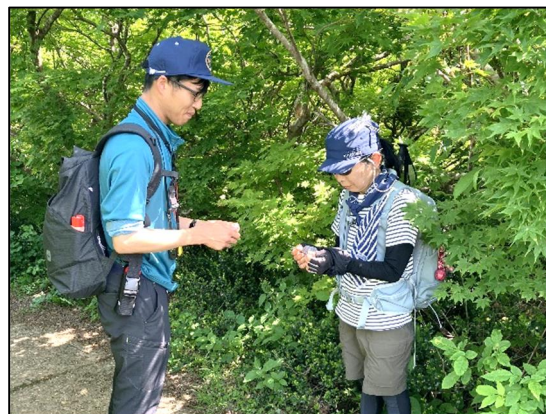
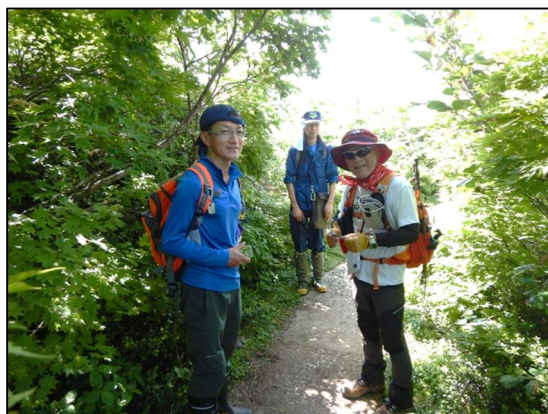


マイヅルソウ

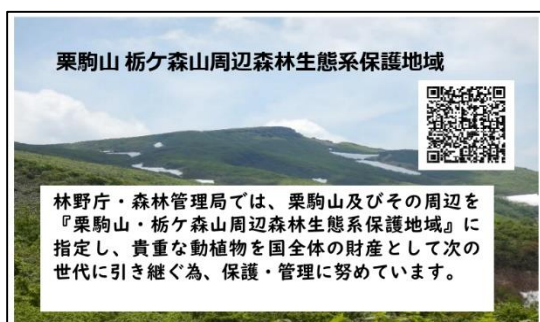


ワタスゲの群落

GSSのパトロールでは、植生保護・ゴミの持ち帰りをお願いするカードを登山者の方々にお渡ししています。本日も数組の登山者の方へカードをお渡ししました。皆で協力して栗駒の自然を守り、後世に繋いでいきましょう。



登山者の方々に植生保護・ゴミの持ち帰りをお願いするカードを配布



活動中にお渡ししているカード